



Angeline EIJSINK (Netherlands)

アンジェリエン・エイジンク (蘭)

Vice-President of the NATO PA

NATOPA 副会長

アンジェリエン・エイジンク氏 は、2003 年以来オランダの国会議員で労働党に所属している。彼女は、当選以来、防衛と安全保障を重視してきた。彼女は 2011 年から副委員長であった外務常任委員会の委員長に 2012 年就任した。彼女は、議会人として「退役軍人（ベテラン）法」を発議し、2011 年にオランダの議会で採択された。外務委員会、防衛委員会に加えて、彼女は、欧州問題事象、公共支出、外国貿易と開発協力、住宅と中央政府関連及び王国関係等の委員会の委員でもあり、オールラウンドな国会議員として活躍している。

エイジンク女史は、2007 年以来 NATO PA のメンバーである。彼女は 2014 年にハーグの年次総会で副会長に選出された。その前は、2011 年から「将来の安全保障と防衛能力 (DSCFC)」に関する下部委員会の副議長を務めた。また、過去数年にわたって積極的に防衛安保委員会の活動に参加している。ハイライトは、2008 年に、欧州連合軍司令官 (SACEUR) とともにアフガニスタンの ISAF のミッションを訪問したことである。国会議員として、防衛、外交及び国際安全保障にかかわる幅広い分野の計画に積極的に活動して来た。現在、彼女はオランダ大西洋協会の理事であり、退役軍人協会の推薦委員会のメンバーでもある。以前は、彼女はヨーロッパ安全保障研究センターの理事であり、BUC (ベネルクス大学センター) 教授会「軍隊と社会」の諮問委員会メンバーである。2012 年に彼女は COSAC (欧州連合の連合問題に関する議会委員会会議) のメンバーとして参加した。

エイジンク女史は、保育園教師として教育を受け、1979 年から 1991 年までの間様々な教育の職務についた。この期間、教育のプロジェクトのコーディネーターとして 1985 年から 1987 年の間フィリピンで働いた。彼女はまた非西洋社会の文化人類学・社会学でライデン大学の学位を取得している。国会議員になる前は、彼女は外務省で種々の職務を経験しているが、そのほか、国際文化政策課の課長代理としても勤務している。2002 年からは彼女はサハラ以南アフリカ局の局長でもあった。